

まなぶ子 かかわる子 つくる子

資質・能力【A】

目の前にある事象や課題に背を向けず自分の力で粘り強く立ち向かう力

資質・能力【B】

他とかかわりながらよりよい考えやものを創り出していく力

重点目標

自分事としてとらえ 学んでいく子
～「仲間に学ぶ 大人に学ぶ 自然・文化に学ぶ 本物に学ぶ」～

【児童の実態】

- ・自分の課題にじっくりと向き合うことができない
- ・試行錯誤しながら課題達成を目指したり、仲間とよりよいものをつくりあげたりしていない
- ・主体的によりよいものを探求することができない

【今日的課題】

- ・従来のカリキュラム通りで、児童の探究心を十分に引き出すことができない指導計画
- ・指導内容が多く、子どもの思考を十分に待つことができない授業
- ・日々の指導、業務に追われ、余裕がないために、児童の思考の幅を拓ける工夫のない指導

研究主題

粘り強く考え よりよいものをつくりあげる 上小っ子の育成
～〇〇〇〇を通して～（仮）

【目指す児童像】

- ・自分の課題に粘り強く向き合う子
- ・課題達成のために試行錯誤する子
- ・仲間と力を合わせて、よりよいものをつくりあげる子

【目指す授業像】

授業の中では、特に試行錯誤の過程を取り入れていく。ひとつの授業の中で取り入れていくこと、単元の中で取り入れていくことが考えられる。
（例）PDCA サイクルなど

【グループでの授業・ミニ研検討（P）】

希望調査を行い、所属する教科グループを決定する。（9グループを予定）そのグループごとに集まり、研究主題にアプローチするための公開授業やミニ研の打ち合わせ・検討を行う。

【公開授業・ミニ研（D）】

- ・メイン授業→全員参観が基本
 - ・サブ授業→全員参観が基本
 - ・自主授業→自主参観
- ※公開授業日については、研究係と相談して決定する。
・ミニ研→研修日の開始 10 分程度を予定
授業で使えるテクニックのミニ実技研

【授業参観・事後研（C）】

指導案や公開授業を見て取組を分析し、成果と課題を全体で確認する。
・メイン授業→事後研は研修日
・サブ授業→事後研は放課後座談会
・自主授業→事後研は放課後座談会

【事後研・授業（A）】

事後研で確認した成果や課題、ミニ研で得た知識や技術を、自己、またはグループに持ち帰り、日々の授業改善、または、自主授業に生かす。

先生方も PDCA サイクル！

「こんな授業をしたらいい！」

（目指す授業像・研究仮説内容）

例）試行錯誤する場面

PDCA サイクル

「こんな力を伸ばせばいい！」

（研究仮説内容）

例）語彙力・書く力・対話力

どんな活動で？

何の教科で？

（副主題・窓口）

例）書く活動で・話し合い活動で

図工で・理科で

今年1年間のゴール！